

# 目 次

## 第1章 総説

1 沿革	1
2 施設の概要	1
3 組織及び業務内容	2
4 歳入歳出決算	5
5 試験研究費等の推移	6
6 主な試験検査機器	7

## 第2章 業務の概要

1 企画情報部	11
2 保健科学部	14
3 衛生科学部	20
4 環境科学部	22
5 地球科学部	24
6 検査部	27
7 健康情報調査監	28

## 第3章 研究報告

1 研究体系	29
2 研究概要報告	
(1) 生食用カキのノロウイルス不活化に関する研究	33
保健科学部 部長 高橋 知子、主査専門研究員 藤森 亜紀子、専門研究員 小泉 英誉、 専門研究員 山下 裕紀、主任専門研究員 岩渕 香織、上席専門研究員 高橋 雅輝、 企画情報部 主任専門研究員 佐藤 卓、水産技術センター 上席専門研究員 加賀 克昌	
(2) 麻痺性貝毒に関する機器分析法の研究	35
衛生科学部 専門研究員 沼野 聡	
(3) DNA抽出時における前処理効果の検討について	36
衛生科学部 主任専門研究員 関村 照吉、主任専門研究員 昆野 智恵子	
(4) 食品中自然毒等の分析法に関する研究	38
衛生科学部 主査専門研究員 宮手 公輔	
(5) レバーを含む食品の細菌検査で生じる遺伝子増幅阻害を軽減する手法の開発	40
検査部 主査専門研究員 山中 拓哉、主任専門研究員 太田 美香子、 主任専門研究員 小野 正文、部長 佐藤 德行	
(6) 医療機関との連携による薬剤耐性菌の解析	42
保健科学部 主任専門研究員 岩渕 香織	
(7) 岩手県における小児呼吸器ウイルスの疫学に関する研究	44
保健科学部 上席専門研究員 高橋 雅輝	
(8) ウイルス媒介性節足動物（ヒトスジシマカ）の生息に関する研究	46
地球科学部 専門研究員 大橋 慶太郎	
(9) 微小粒子状物質の発生源解明に関する研究	48
地球科学部 専門研究員 菊池 一馬	
(10) 酸性雨による環境影響の総合的評価（広域連携事業）	50
地球科学部 主任専門研究員 鳴海 史、専門研究員 菊池 一馬	
(11) 公共用水域の水質検査において大腸菌と誤判定されるコロニーに関する研究	52
検査部 主査専門研究員 山中 拓哉、主任専門研究員 太田 美香子、 主任専門研究員 小野 正文、部長 佐藤 德行	

(12)	有機フッ素化合物の環境動態及び生物蓄積に関する研究-----	54
	環境科学部 上席専門研究員 岩渕 勝己	
(13)	PPCPs (Pharmaceutical and Personal Care Products) 等化学物質実態調査-----	56
	環境科学部 上席専門研究員 伊藤 朋子、技師 浅沼 英明	
(14)	重要な絶滅危惧植物を存続させるための技術開発に関する研究-----	58
	地球科学部 上席専門研究員 小山田 智彰	
(15)	イヌワシの生息数維持に向けた保全生態学的研究-----	60
	地球科学部 上席専門研究員 前田 琢	
(16)	ツキノワグマの個体群動態と将来予測手法の開発ならびに 人里への出没メカニズムの解明-----	62
	地球科学部 専門研究員 鞍懸 重和	
(17)	五葉山地域に生息するニホンジカの個体数推定-----	64
	地球科学部 専門研究員 鞍懸 重和	
3	研究課題の外部評価-----	65
4	報文	
(1)	なわばりの隣接するイヌワシ個体間に見られたつがい形成と解消の事例-----	75
	前田 琢	
(2)	岩手県内光化学オキシダント濃度の長期的評価と地域内変動-----	79
	佐藤 卓、多田 敬子	
5	資料	
(1)	感染症発生動向調査事業における病原体検出状況（令和元年度）-----	87
	高橋 雅輝、岩渕 香織、藤森 亜紀子、小泉 英誉、山下 裕紀、高橋 知子	
(2)	腸管出血性大腸菌感染症の発生状況-----	96
	岩渕 香織、川上 修央、藤森 亜紀子、高橋 雅輝、高橋 知子、梶田 弘子	
6	学術雑誌等掲載論文	
(1)	岩手県におけるアツモリソウの現状と保全-----	101
	小山田 智彰	
7	研究発表抄録-----	107
<b>第4章 研究発表目録</b>		
1	学術雑誌原著論文-----	145
2	総説・報告等-----	145
3	学会等での口頭発表-----	146
4	県民等に対する啓発活動の状況-----	149